

以前、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環で、中国武漢からの帰国者に対する医療支援としてDMAT(災害派遣医療チーム)が編成され、私もDMAT隊員として活動いたしました。あれからちょうど2年がたちましたが、災害医療も変化を余儀なくされた2年間でした。私は東日本大震災での避難所における超音波検査活動の経験から、災害現場にいち早く出動できるDMATのメリットを感じ、日本DMAT隊員となりました。

DMATは基本的に医師と看護師および業務調整員から構成され、臨床検査技師は業務調整員として活動することになります。業務調整員の仕事は、災害拠点での連絡係や医療資源確保など多岐にわたりますが、検査など医療行為としての業務が活動内容に含まれることはほぼありません。ただ、この2年間、感染対策をしながら看護師がトリアージを行ったり医師が治療を行ったりという状況を見ると、法改正による業務拡大も相まって、臨床検査技師が災害時に医療業務へ介入する必要性がより高まっていると感じています。そうすると、より広い分野での知識向上が望まれ、本誌が果たす役割も大きいと思います。

本号も幅広い内容を網羅しています。トピックスでは“クリオプレシペートの調製方法”そして“観察医事務所で臨床検査技師業務”、フォーカスでは“臨床検査専門医のあり方”などです。特に「がん治療関連機能障害の心電図による評価」は興味深く拝読させていただきました。その他、技術講座での「胚培養技術」をはじめ、バラエティーに富んだ内容です。皆さまも興味をもたれる内容が多いと思いますので、ぜひゆっくりとご一読ください。

(八鉾恒芳)

第50巻3号(2022年3月・増大号)予告

一般検査領域の検体アトラス

外観検査から顕微鏡検査まで

臨床検査領域の学習において、画像による視覚的な理解は欠かすことができません。これは一般検査にも当てはまります。しかしながら、いざ一般検査について学習しようと思っても、検体の外観や性状は文章で解説されていることが多く、それが実際にどのような見た目・色なのか、何が異常なのかを視覚的に学ぶことができる書籍・テキストはあまりありません。

そこで本増大号では、一般検査で用いられる検体の外観・顕微鏡写真を数多く掲載しました。実際の検体写真を、“見て学ぶ”ことができる一冊です。

目次

- I. 穿刺液検査
 - 胸水・腹水
 - CAPD 排液
 - 関節液
- II. 糞便検査
- III. 髄液検査
- IV. 精液検査
- V. 尿検査
- VI. 結石検査
- VII. その他の検体の検査

編集室より

次号予告にもありますが、次号の増大号では一般検査を取り上げます。病理検査や血液検査などのアトラスはよく目にしますが、一般検査に関する画像が多くまとめられているものはかなり珍しいのではないのでしょうか。文章での解説を可能な限り減らし、その分、本当に多くの画像を掲載しています。どうぞ楽しみにお待ちください。(K)

編集委員(五十音順)

矢富 裕(編集主幹)・大楠清文・谷口智也・八鉾恒芳・横田浩充

編集協力委員(五十音順)

大川龍之介・大沼健一郎・岡田光貴・沖野久美子・菊地良介・木下朋幸・木村圭吾・草苺宏有・河野浩善・国分寺晃・佐々木雅一・清水康平・鈴木智一・名倉 豊・平石直己・藤崎 純・松田和之・丸川活司・柳田絵美衣・脇田 満

検査と技術

2022年2月1日発行(毎月1日発行)
定価:1,870円(本体1,700円+税10%)

2022年年間購読料(2冊の増大号を含む12冊,税込,配送料弊社負担)

冊子版 27,940円
冊子+電子版/個人 33,440円
電子版/個人 27,940円

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊
〒113-8719
東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713
ファクシミリ (03)3815-7802
E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp/journal/543

販売・PR部直通 (03)3817-5659
振替口座 00170-9-96693
印刷 (株)アイワード (011)241-9341
広告取扱 日本医学広告社 (03)5226-2791

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2022, Printed in Japan.

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)は <https://www.igaku-shoin.co.jp> です。

(担当 小山・三由・境田・田村・能藤)

「検査と技術」は、株式会社医学書院の登録商標です。